

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

① 学校の現状や課題

第五次秋田県高等学校総合整備計画において、平成17年7月に、大館桂高校、大館高校、大館工業高校の3校を統合して総合制高校をつくる「成案」が示された。平成18年5月には、「基本構想案検討委員会」が組織され、統合校の基本構想案を検討し、平成19年3月に素案として県に提出している。統合に向けて、すでに動き出しているのが現状である。

かつて1,000人を超える在籍数であった本校が、各学年3学級となっており、さらに統合に向けて定員の減少が予想される。進学や就職、また部活動においても、どうしてもパワー不足になりがちである。こうした生徒数の減少傾向に抗して、いかにして活気のある充実した学校生活を創り出していくかが本校の課題である。

② 学校を取り巻く将来の状況の予測

本校は、平成25年度に創立100周年を迎える。その後については、第六次秋田県高等学校総合整備計画の進捗状況によるが、5年後の平成27年には、統合校としてスタートしている状況、あるいはその準備をしている状況が予測される。

③ 目指す方向性や学校像

方向性の一つは、統合に向けた動きとなる。統合校として予定される学期制や日課表へ早期に移行して体制を整えておく必要がある。統合校の構想が具体化するに従って、事前に準備べき事項も明らかになってくると思われる。

もう一つは、100年の歴史と伝統を踏まえた女子校としての集大成である。多様な進路希望に適切に対応しつつ、女子校ならではの教育に社会の変化に対応したキャリア教育を積極的に取り入れて有為な人材を育成していく。

地域と連携し地域の教育力を活用しつつキャリア教育を展開していく方向性については、さらに充実させて統合校においても引き継いでいきたいと考えている。

④ 5年間で達成を目指す具体的目標

- ・ 中途退学率0%を達成する。
- ・ 就職内定率100%を維持する。
- ・ 国公立大学合格者5人以上を達成する。
- ・ 進路学習等で100人以上の同窓生を招待する。
- ・ 3つ以上の部活動において、県北地区優勝相当の成果を継続する。

具体的な取り組み等

◎ 創立100周年に向けた取組

[平成 23 年度]

- ・ 組織づくりと運営（校内組織・事務局会議・準備委員会・実行委員会）
- ・ 記念事業の立案

[平成 24 年度]

- ・ 記念事業の準備

[平成 25 年度]

- ・ 記念事業の具体化と式典の実施

◎ キャリア教育の展開に向けた取組

- ① インターンシップへの全員参加を実現する。

就職希望者のみインターンシップに参加しているのが現状である。単なる職場体験ではなく、希望する職業を体験することを前提として、できるだけ早い時期に進学希望者も含めた全員参加を実現したい。これはインターンシップを高校3年間のキャリア教育の中心と位置づけ、事前の職業意識の深化、事後の進路達成への動機づけを意図している。実際には、希望する職業に相当する受け入れ先が見つかるか課題も多い。

- ② あいさつ・マナー・話し方指導を充実する。

あいさつやマナー、整容等は、本校にとっては「強み」といえる分野である。これらの指導をさらに工夫するとともに、専門家を招いて具体的な研修を企画するなどして完成度を高める。

- ③ 同窓生等を活用した進路学習を展開する。

生徒たちの職業意識を深めるために、さまざまな職業の同窓生等を学校に招き、できるだけ少人数で具体的な話を聞く機会を設ける。少人数であることにより、質問や会話の機会が多くなる。大人と接し、対話する経験を積む場としても考えている。

- ④ その他

本校の教育活動全体が、キャリア教育的な考え方で展開される方向を目指す。

◎ 職員の共通理解に向けた取組

ビジョンはあっても、その実現のためには職員の共通理解、実現に向けた意思統一が不可欠である。説明と協議のための機会をできるだけ多くつくっていく。必要に応じて、外部から講師を招いて研修する機会も積極的につくる。